

内閣官房ホストタウンアクション／日英交流年 UK in Japan 2019-20 プレ企画

公民連携でインナーハーバー地区の再生を考える共創ラボを開催します！

ダイバーシティ、インクルージョン、オープンイノベーションの視点から、インナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区等）を公民連携でどのように再生していくかをテーマとした共創ラボを開催します。

今回の「共創ラボ」では英国よりグローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ (GDI-Hub) のイアン・マッキノン氏をお招きし、ロンドン 2012 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として誰もが住みやすい街づくりを実現した英国の事例を伺います。また、関連する企業や NPO、学校教育機関等と共にワークショップやフォーラムを実施します。

横浜市は東京 2020 大会において英国のホストタウンとなっており、今回は横浜市のホストタウンアクション第 2 弾として開催します。



インナーハーバー地区

【概要】

日時：平成 31 年 2 月 6 日（水）10 時～20 時

会場：横浜駅周辺（パナソニックリビングショウルーム横浜、情報科学専門学校等）

ゲスト：【2・3部のみ】イアン・マッキノン氏（GDI-Hub オペレーション・ディレクター）

【3部のみ】藤原 徹平氏（横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)准教授）

【プログラム】

第1部	10:00 ～12:00	パナソニックリビングショウルーム横浜会議室	セッション①	誰もが快適かつ安全に生活できるインナーハーバー地区をテーマとして、NTT による心のバリアフリー・障害理解研修のほか、関係事業者や住民、学生、行政職員等で話し合います。
第2部	14:00 ～16:30	インナーハーバー地区 (横浜駅構内を除く) ※14時にパナソニックリビングショウルーム横浜にお越しください	ワークショップ	グループに分かれ、NTT の情報収集技術を使用してインナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区）のまちあるきを行い、バリアフリー情報を収集します。
第3部	17:30 ～18:00	情報科学専門学校 8 階 大会議室	基調講演	イアン氏に英国におけるインクルーシブデザインの具体例等をお話しいたします。
	18:00 ～20:00		セッション②	横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)准教授の藤原徹平氏とイアン氏の対談を軸に、オープンイノベーションのプラットフォームとしてのインナーハーバーの可能性について議論します。

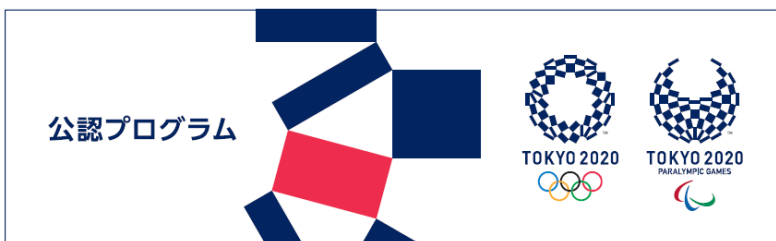
【「UK in Japan 2019-20」とは】

2019 年 9 月のラグビーワールドカップ 2019 日本大会開幕から、2020 年 9 月に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が終了するまで、駐日英国大使館とブリティッシュ・カウンシルが共同で開催するキャンペーンです。2 つの世界的なスポーツの祭典を機に、ビジネス、科学、イノベーション、文化芸術、クリエイティブ産業、教育、ダイバーシティとインクルージョンの分野での英国の卓越性を紹介し、日本国内で展開する多様なプログラムを通して日英間の強固なパートナーシップを築き上げていきます。

【ホストタウンアクションとは】

ホストタウンとは、2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体を、内閣官房が登録するものです。

ホストタウンアクションは、東京 2020 参画プログラムに認証された、ホストタウン登録自治体が行う相手国との文化交流等の取組です。



世界とつながろう ホストタウン

裏面あり

【参加申込方法】

- 事前申込制・先着順（100名程度）、参加費無料
- メールもしくはfacebook イベントへの「参加する」表明によりお申し込みください。
「第1部」、「第2部」、「第3部」それぞれの部のみの参加も可能です。
- メール申込みの場合は件名に「2/6 共創ラボ参加希望」、本文に参加するプログラム（第〇部）を記載。
- 手話通訳が必要な場合は、その旨お知らせください。
- 定員超過の場合を除き、連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。

【締切】

平成31年2月5日(火) 17時まで

【申込先】

- メール：localgood@yokohamalab.jp
- facebook イベント：<https://www.facebook.com/events/1110928075735697/>

【主催】横浜市（政策局・市民局）、横浜国立大地域ブランドラボ

【協力】駐日英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、情報科学専門学校、日本電信電話株式会社
パナソニック株式会社、LOCAL GOOD YOKOHAMA、横浜リハビリテーション専門学校

【ゲスト紹介】



イアン・マッキノン氏
(GDI-Hub オペレーション・
ディレクター)

英国のクイーンエリザベス・オリンピック・パークを手がけるロンドンレガシー開発公社（LLDC）にてインクルーシブデザインを指揮。英国アクセスコンサルタント（NRAC）のメンバーとして、複合施設の基本計画、新旧建築物、製品から会場やライブイベントの運営面まで、幅広いプロジェクトに対して創造的かつ革新的なソリューションを案出し、インクルーシブデザインに関するアドバイスを提供している。

これまでの経験を踏まえ、現在は『人々のためのデザイン』に対する考え方やアプローチを、建築、都市、製品、サービス、デジタル、ファッション、グラフィックといったあらゆる分野のデザイナーとともに変えていくことを目指している。また、障害のある人々や高齢者のニーズを尊重し主流化することが、結果的にあらゆる人の生涯にわたる豊かな暮らしにつながることを強く提唱している。

【グローバル・ディサビリティ・イノベーションハブ（GDI-Hub）】

2012年ロンドンパラリンピック競技大会の主要なレガシープロジェクトの一つとして設立された。大学および文化機関の協働組織としてクイーン・エリザベス・オリンピック・パークを拠点に、地域コミュニティ、研究者、専門家、障害のある人々を結びつけ、ロンドン2012パラリンピック競技大会によって培われた経験と、障害に関する最先端の専門性を融合することで、さらなるイノベーション、共同デザイン、クリエイティブ・シンキングをグローバルに推進している。

【会場】

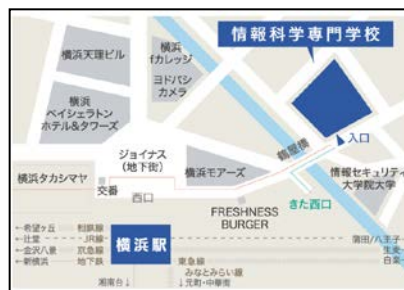
■パナソニックリビングショールーム横浜

住所：横浜市神奈川区金港町 2-6 横浜プラザビル 1F



■情報科学専門学校

住所：横浜市神奈川区鶴屋町 2-17 相鉄岩崎学園ビル



【取材について】

事前に、問い合わせ先までご連絡ください。

お問合せ先

政策局 共創推進課 長 梅澤 厚也 Tel 045-671-4394
市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585